

北陸建工 特集

施工事例紹介

## 横浜BUNTAI (旧 横浜文化体育館)

敷地面積は10,057㎡、建築面積は7,997㎡で、5,000人を収容することができます。

外観は白と黒を基調とし、曲線を取り入れたデザインです。夜には、様々な色のLED照明を点灯することができます。内部は、1階がアリーナ、2階には観客席、ロビー、ラウンジ、体育室があり、3階にはプレミアムボックス席も完備しています。

観客席とアリーナの距離が近く、約400インチのLEDビジョンが3面に設置されており、一体感のある観戦やライブ鑑賞を楽しめます。

外観は、横浜の浜風を受けて進む船の「帆」をイメージした流線型のデザインで、未来に向かって進む横浜らしさを表現しています。

北陸建工は建物全体の鉄骨部分を担当しました。夜間のライトアップにより鉄骨部分が透けて見えるのが特徴です。特に、外装パネルの曲線に合わせた下地鉄骨の施工が難易度の高い部分となります。

### PROJECT PJ計画部

#### 良かった点

現場の建方計画が非常に緻密で正確だったため、搬入トラブルもなく順調に出荷できました。

建方中に現場を訪れた際、篤の親方から「何度もトラス鉄骨を建てたが、これほど精度の高い鉄骨は見たことがない」と毎回褒めていただきました。

完工間近に現場を見る機会がありました。アリーナ鉄骨のため、鉄骨の見え掛かりも多く、屋根裏も案内していただき、トラス柱脚部や設備架台、すのこなど、普段見られない鉄骨を間近で見ることができました。外装鉄骨もパネルが貼られていましたが、下から覗くと鉄骨がよく見え、ライトアップされていて非常に美しかったです。



#### 苦労した点

トラス下弦材に母材の欠陥が発生したため、メーカーや大成建設、構造設計とのやり取りに時間を要しました。

RC+S造でコンクリートとの取り合いが多く、約1,200本のアンカーボルトの手配が大変でした。また、ほとんどのアンカーが実測対応だったため、受領スケジュールの調整やデータの確認・整理に時間がかかりました。

外装鉄骨が特に複雑で、アンカーとの取合いが多かったため、外注製作の段取りや工程管理に苦労しました。

# DESIGN

## 設計部

トラス屋根は共通点が多く、比較的まとまりやすかったですが、製作直前でのメンテナンス歩廊の変更対応やキャンパー調整に時間を要しました。

外装下地鉄骨に関しては、現場データと業者データに不整合が多く、正確なデータを整理するのに苦労しました。

アリーナの柱脚や外装下地鉄骨の壁面取り合いのアンカーボルトの現場施工精度が不十分で、アンカーボルトがベースプレートからはみ出たり、テーパ座金の改造作業が大変でした。

現場担当者から聞いた話では、夜にライトアップされた際は非常にきれいだそうです。

# QUALITY

## 品質管理部

組立時に社内不具合を発見でき社外流出を防ぐことができました。また、(東金屋工場の)現場不適合は吊ピースの取付け間違いの1件のみだったため、嬉しかったです。

上下弦材の梁せい方向の大曲がりについて、大曲がりの矯正をやり直さしてしまいました。しっかりと許容値を確認してから検査をするべきでした。

製品検査のトラス仮組立ての精度が合わず、前日の遅くまで作業をしてしまいました。余裕のある工程を立てるべきでした。

## 「企業認知度向上」の取り組みとして

# 県内大学や高専へ講義を実施し始めました!

学生への認知度向上を図るため、建工ホールディングスの企画グループではSpreadersと連携して、さまざまな採用につながる取り組みを行っています。

今年の夏から、北陸建工グループがどのような仕事をし、地域貢献をしているか、また仕事のやりがいについて講義をスタートしました!



2024.6.27<sup>thu</sup>

## 富山県立大学 シルモクへの登壇



「企業を知る木曜日」、略してシルモクという富山県立大学で開催している企業説明会に登壇させていただきました。参加してくれた学生は約150名と多く、学生に北陸建工グループを知ってもらえる大変貴重な機会となりました。

2024.7.18<sup>thu</sup>

## 富山大学 スポーツマネジメント論Ⅱ



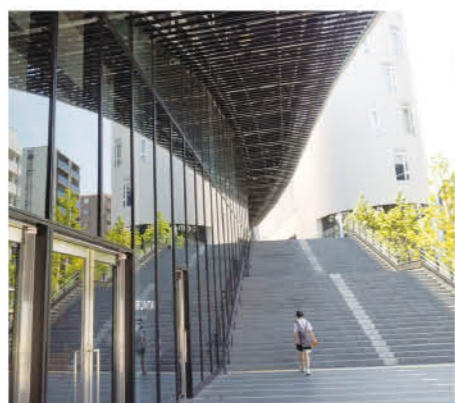
エディオンピースウィング広島の建設を主な題材に、できるまでの経緯やまちの活性化、スポーツ×製造業を中心とした講義を、教育学部の学生約17名に向けて行ってきました。

2024.8.5<sup>mon</sup>

## 富山県立大学 2年生対象講義



北陸建工と北陸鋼産で、建築と土木分野の鉄鋼構造物について講義を行いました。北陸建工からはエディオンピースウィング広島、北陸鋼産からはセントルについての講義を行いました。



# JOURNAL

雑誌掲載



「月刊 体育施設」に掲載されました!

完工間近!

# 北陸BASE

10月26日に竣工式を開催します!

北陸建工グループ初の物流拠点となります!

北陸BASE  
とは?

工場の中央を搬入トラックが通り抜け可能なドライブスルー方式にすることで、積み込み時の待機時間削減に対策しています。北陸BASEに製品を保管できるようになることで、工場内の生産スペースを確保し、自動搬送装置の導入で生産性の向上を目指します。

大きさは  
50m×200m!



# 高校生 インターンシップ

今年は5名の高校生が7月8日(月)から7月10日(水)までの3日間開催のインターンシップに参加しました。今までは北陸建工のみでの対応でしたが、北陸熔断、北陸鋼産の3社で協力し、北陸建工グループについて広く知ってもらおう工夫をしました。

## 高校生の感想

職場の雰囲気がとても良く、一人一人のコミュニケーションが盛んな良い企業だと知ることができました。



3日間のインターンシップを通して最初は緊張していましたが、皆さんに優しくしてもらって有意義な時間を過ごすことができました。

働くことの大切さや大変さを知ることができました。学校では学べないことをたくさん知ることができ、この3日間はとても良い経験になりました。

インターンシップの3日間だけでなく、事前に計画・準備・ベンチの仕上げをしていただき、時間を割いてインターンシップを有意義なものにしていた点に心から感謝しています。



魚津工業高校、富山工業高校でそれぞれ1台ずつベンチを作成し、学校に納入しました。



魚津工業高校



富山工業高校

# 5DAYS インターンシップ

9月9日(月)から9月13日(金)までの5日間開催の理工学系学生を対象としたインターンシップに6名の学生が参加してくれました!このインターンシップでは、学生が製作したベンチを北陸建工グループアスリートフィールドに納入します。



学生からのアンケートでは、インターンシップに **大変満足** と回答してくれた学生が **9割** もいました!

インターンシップに参加してくれた理由として多かったのが、**グループでの一貫体制に興味を持っていた** との回答でした!



Follow me!